

平成19年度 第1回府中市防災会議地震専門部会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成19年7月18日（水）午後1時30分から
- 2 開催場所 矢崎町防災公園多目的会議室
- 3 出席委員 大野明部会長 本村克彦副部会長 渡邊俊幸副部会長
中村久吉副部会長 東英彦委員 中村正明委員
佐野賢太郎委員 佐伯正委員 富岡友三委員 森和寿委員
萩原哲男委員 大山和男委員 金森泰委員 長澤通委員
皆川亨委員 野岡富昭委員 山岸則夫委員 青木文男委員
秋山勤委員 竹内伸一郎委員 遠藤道夫委員
古沢和夫委員 三ヶ尻秀男委員
- 4 代理出席 警視庁府中警察署警防課警備係員 府中市都市整備部水道課長
補佐
- 5 欠席委員 岸彰委員 関根昌一委員
- 6 事務局 石阪防災課長 萩原防災課長補佐 大木主任 山田作業員
長谷川事務職員
- 7 議 事 (1) 審議事項
府中市地域防災計画修正の基本的な考え方について（案）
平成19年度府中市総合防災訓練の実施について（案）
(2) 報告事項
平成19年度災害対策主要事業について
(3) その他
- 8 公開・非公開の別
公開（傍聴者の数 0人）

会議内容（要旨）

萩原補佐 大変お待たせしました。定刻となりましたので、ただ今より府中市防災会議地震部会を開催させていただきます。はじめに、本会議の部会長であります大野環境安全部長より、ごあいさつを申し上げます。部会長よりしくお願いします。

大野部会長 本日は、お忙しいところ本年度の府中市防災会議地震部会にご出席いただきまして、ありがとうございます。府中市環境安全部長の大野でございます。よろしくお願いいたします。本地震部会は、府中市防災会議条例に基づき防災会議の命を受け、審議事項になっております「府中市地域防災計画修正の基本的な考え方について」と本年度の「総合防災訓練」について、ご審議いただくことになっておりますので、よろしくお願いいたします。一昨年7月に千葉県北西部を震源として発生した地震では、府中市では震度3の揺れを観測し、エレベーターが停止するなどの被害がありました。足立区では震度5

強の地震が観測され、都内においては、鉄道機関の不通やエレベーターが停止するなど、改めて首都直下地震に対する新たな課題が浮き彫りになりました。さらに、本年は、3月に能登半島地震、続いて三重県地震、一昨日には、3年前の地震による傷がまだ癒えていない新潟県において、新潟県中越沖地震が発生し、柏崎市をはじめ各地で甚大な被害を受けているところでございます。このような中、本年5月には、東京都は、地震による様々な被害の軽減を図るため、新たな減災目標を掲げ、東京と地域防災計画を修正しております。本市におきましても、都の計画に基づき、安全で快適に住めるまちづくりを目指し、府中市地域防災計画を抜本的に見直す予定でございます。自然災害の発生を防ぐことはできませんが備えることにより被害を最小限に抑えることは可能です。このような状況を踏まえ、本年度の総合防災訓練も、防災機関相互における協力連携訓練を充実させるとともに、自主防災組織や自治会の方々など市民が主体となった、地震発生に対応した「発災対応型防災訓練」を実施する予定であります。日頃より、防災機関がその有する全機能を有効に発揮して、災害の予防に心がけていただくとともに、いざ災害が発生した場合における迅速な応急対策や、復旧活動などの体制を充実していくことが、市民の生命、財産を災害から守り、「災害に強いまちづくり」につながるものと考えております。皆様方におかれましては、どうぞ、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

萩原補佐 引き続きまして、人事異動等により委員の交代がございましたので、ここで新たに専門委員に委嘱させていただきました方をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、誠に恐縮ですがご起立ねがいます。

(新委員を紹介)

萩原補佐 以上、新委員をご紹介させていただきました。それでは、これより議事に移らせていただきます。部会長よろしく申し上げます。

大野部会長 それでは、府中市防災会議地震部会運営要綱第3条に基づき議事につきましては部会長であります私が行うこととなっておりますので、皆様のご協力によりスムーズに会議を進めたいと思います。よろしくようお願い申しあげます。議事の(1)審議事項の「府中市地域防災計画修正の基本的な考え方について(案)」を議題といたします。事務局、説明ねがいます。

(事務局、資料1に基づき説明)

大野部会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。質問等がないようですので、お諮りいたします。「府中市地域防災計画修正の基本的な考え方について(案)」ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

大野部会長 ないようですので、「府中市地域防災計画修正の基本的な考え方

ついて(案)」は承認されました。続きまして、審議事項の「平成19年度府中市総合防災訓練の実施について(案)」を議題といたします。事務局、説明ねがいます。

(事務局、資料2に基づき説明)

大野部会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。質問等がないようですので、お諮りいたします。「平成19年度府中市総合防災訓練の実施について(案)」ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

大野部会長 ないようですので、「平成19年度府中市総合防災訓練の実施について(案)」は承認されました。続きまして、議事の(2)の報告事項「平成19年度 災害対策主要事業について」事務局、説明願います。

(事務局、資料3に基づき説明)

大野部会長 以上で説明が終わりました。何かご質問等はございますか。ないようですので、議事の(3)「その他」ですが、事務局の方で何かありますか。

萩原補佐 本日、ご出席いただいております府中警察署 警備課長本村様と府中消防署警防課長渡邊様より、活動状況等について、お話を承りたいと存じます。始めに、府中警察署警備課長本村様、よろしくお願いいいたします。

本村委員 府中警察署警備課長の本村でございます。それでは、災害に関する警察署の活動についてお話したいと思います。今年発生しました能登半島地震や新潟県中越沖地震等の被害者は高齢者、特に独居老人に集中しています。このため、警察署の震災対策としては災害弱者対策が中心となり、どうしたら災害弱者の把握が可能となるのかが課題となっています。市・自主防災組織・養護老人ホーム等と連帯して、取り組んでいきたいと考えています。今年度実施の訓練としては、多摩川競艇開催時を想定した避難訓練、警察署内のエレベーターを止めて実施した救助訓練、職員の参集訓練などがあります。また、昨年度、管内では治安状況は概ね良好でありました。

大野部会長 ご説明ありがとうございました。続きまして、府中消防署警防課長渡邊様、よろしくお願いいいたします。

渡邊委員 ただ今ご紹介いただきました府中消防署警防課長渡邊でございます。それでは消防署の災害活動についてご報告いたします。今回新潟県中越沖で発生した地震では、給食車を有する分梅出張所に応援要請があり、救急隊が準備しましたが、その後の被害状況により応援要請が取り消しとなりました。消防署の震災対策としては震度5強以上で参集することになっており、初動としては情報の収集にあたることになるかと思えます。また、昨年度や今回の地震の状況を見ていると、震災時において消防署の役割は救助がメインであり、現

在は震災時には可搬ポンプ等を扱う部署に人員を多く配属する態勢を取ることになっていますが、この態勢を変更する必要性を感じています。高度な救助能力・用具を有するチームが震災時には必要になると想定され、現在は災害時には一つの消防署がその管内を対応する別個態勢が取られていますが、被害予想システムを導入することによって、より被害が少ない場所を応援できるような部隊の配分・応援態勢作りを目指したいと考えます。現在、府中消防署は可搬ポンプ7台を有し、約250名の職員で1/3交代制を取っています。災害時にはこれに加えて予め救助の訓練を受けている災害時支援ボランティアの協力を受けて対処することになります。災害時支援ボランティアは府中市内に273名の登録があります。

大野部会長 ご報告ありがとうございました。何かご質問がございましたでしょうか。ないようですので、以上をもちまして、本会議の議事は全て終了いたしました。なお、本日 ご審議、ご了承いただきました事項については、7月26日、木曜日の防災会議に報告いたします。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。